

(5) 卓 球

令和3年度第56回群馬県高等学校総合体育大会卓球競技会
兼令和3年度第71回関東高等学校卓球大会群馬県予選会
兼令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技会群馬県第一次予選会
兼令和3年度群馬県高等学校卓球選手権大会一次予選会

1. 期日及び会場

○令和3年5月1日(土)・2日(日)・14日(金)・15日(土)・16日(日)

- 第1日(1日) 9:00～ ヤマト市民体育館前橋メインアリーナ
(男子ダブルス決勝まで・女子シングルスベスト32まで)
- 第2日(2日) 9:00～ ヤマト市民体育館前橋メインアリーナ・サブアリーナ
(女子ダブルス決勝まで・男子シングルスベスト32まで)
- 第3日(14日) 9:00～ ALSOKぐんまアリーナメインアリーナ
(男女学校対抗準々決勝まで)
- 第4日(15日) 9:00～ ALSOKぐんまアリーナメインアリーナ
(男女学校対抗決勝リーグ戦・順位決定リーグ戦)
- 第5日(16日) 9:00～ ALSOKぐんまアリーナサブアリーナ
(男女シングルス決勝まで)

2. 競技種目

男子…学校対抗、ダブルス、シングルス
女子…学校対抗、ダブルス、シングルス

3. 競技日程

種目	ダブルス	学校対抗	シングルス
期日			
5月 1日	男子 決勝まで		女子 ベスト32まで
2日	女子 決勝まで		男子 ベスト32まで
14日		準々決勝まで	
15日		決勝リーグ戦・順位決定リーグ戦	
16日			男女決勝まで

4. 新型コロナウイルス感染症対策

本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。

5. 競技規定

- 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。
- 選手は、当該年度の(公財)日本卓球協会発行のゼッケンを背中につけること。
- 監督は、当該年度の役員章((公財)日本卓球協会発行の役員章)をつけること。
- アドバイザーについてのベンチ入りを以下の条件で認める。
 - アドバイザーの資格は、本要項7に基づく指導者及び日本卓球協会登録をした本連盟に属する選手に限る。
 - アドバイザーのベンチ入りは、男女ともにシングルスのみベスト16決定戦より認める。**ダブルスのアドバイザーベンチ入りは認めない。**
 - アドバイザーは、試合開始時に選手とともに入場する。但し、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合途中でもベンチに入ることができる。試合中にコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- タイムアウトは、個人戦(シングルス・ダブルス)1回戦より、学校対抗ベスト8決定戦及び決勝リーグ戦、順位決定リーグ戦で適用する。

6. 競技方法

- (1)個人戦（シングルス・ダブルス）は決勝までトーナメント方式、学校対抗は準々決勝までトーナメント方式、その後はリーグ戦方式により1位～4位、5位～8位を決定する。
- (2)学校対抗は次の方法で行う。
 - ア ベンチメンバーは8名以内とする。
 - イ 4～6名による1D（ダブルス）、4S（シングルス）の5試合3点先取方式。試合は下記の順序で行う。但し、3番のD（ダブルス）は、1番、2番のS（シングルス）に出場した選手同士で組むことはできない。なお、S（シングルス）は全て異なる選手とする。

順序	1	2	3	4	5
対戦	S	S	D	S	S

7. 引率・監督

- (1)引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
- (2)監督は校長が認める指導者とし、当該年度に（公財）日本卓球協会に登録された者であること。また、それが外部指導者の場合は本専門部の外部指導者登録を完了し、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

8. 参加資格

- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2)選手は、日本卓球協会に登録している者であること。
（日本卓球協会への登録は各校ごとにWEBにて行って下さい）
- (3)年齢は、平成14（2002）年4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4)チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5)統廃合の対象となる学校については、統廃合を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6)転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。但し、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
- (7)参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- (8)外国籍選手の大会出場については、全国高体連卓球専門部内規（4）による。（学校対抗は1名のみ起用できる。個人戦シングルスは2名以内、ダブルスは1組、但し、ペアは日本人）
- (9)その他、（公財）全国高体連の「大会参加資格の別途に定める規定」による。

9. 出場制限

- (1)学校対抗…男女1校各1チーム。（日本卓球協会登録が3名以下の学校は申込み不可）。
- (2)ダブルス…男女共1校各4組。
- (3)シングルス…男女共1校各12名。但し、令和2年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部県予選においてベスト16以上の者はこの枠外で出場可。

10. 大会中止条件

- (1)本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」の「2. 県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合。
- (2)県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。
- (3)その他、群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合。

11. 組合せ会議

シングルス・ダブルスについては、4月27日（火）9時から伊勢崎商業高校において「組合せ基本的事項」により、常任理事及び理事が行う。学校対抗は、4月20日（火）14時30分伊勢崎市民プラザ第一研修室での顧問総会において、「組合せ基本的事項」により、各校顧問が抽選を行う。顧問が欠席の場合は常任理事が責任を持って代理抽選を行う。

12. 表彰

学校対抗、男女優勝校に優勝旗（持回り）を、男女上位 8 位までに表彰状を授与する。ダブルスは 3 位まで、シングルスは 5 位までに表彰状を授与する。

13. 申込方法

参加申込書を各高等学校でとりまとめて、参加校すべて 4 月 26 日（月）午後 2 時までに体育主任を通じ県高等学校体育連盟事務局宛に申し込むこと。

なお、体育主任に申し込むと同時に、申込データを卓球専門部各地区担当者にメールにて送信する。

14. 関東・全国大会への出場権

(1) 関東大会への出場権

○ 6 月 5 日（土）～ 6 月 6 日（日） 茨城：かみす防災アリーナ

学校対抗・・・男女上位 3 校、ダブルス・・・男女上位 1 組、シングルス・・・男女上位 8 名。

(2) 全国高校総体県二次予選への出場権

○ 6 月 18 日（金）・19 日（土） ヤマト市民体育館前橋

学校対抗・・・男女各校 1 チーム、ダブルス・・・男女上位 8 組、シングルス・・・男女上位 16 名。

15. 連絡事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 当日の朝に検温をし、入場受付時には必ず健康状態申告書を提出して下さい。
- ・ 入場時に人数確認を行いますので、引率・選手は揃って下さい。
- ・ 競技中を除き、マスクの着用をお願いいたします。
- ・ 試合前後の手指消毒、手洗いの徹底をお願いいたします。
- ・ 声を出しての応援はお控え下さい。
- ・ 観客席においては、隣の人と距離をとるなど、密にならないようご注意ください。
- ・ 大声での会話はお控え下さい。
- ・ 選手は、試合中の不要な声出しをお控え下さい。
- ・ 汗拭きタオルを入れるビニール袋を持参して下さい。
- ・ 今大会は無観客で開催します。大会参加申込書に登録された引率・監督・選手・帯同審判のみ入場することができます。

(2) その他

- ・ 顧問総会を 4 月 20 日（火） 14：30 より伊勢崎市民プラザ第一研修室で実施します。（学校対抗の組合せ抽選あり）
- ・ シングルス・ダブルスの申し込みについては、上から強い順になるよう名前を書いて下さい。
- ・ 選手変更・・・申込み後切後の変更は認めません。
- ・ 使用球・・・ニッタク（プラスチック 3 スター）40mm 白色を使用します。
- ・ ユニフォーム・・・日本卓球協会公認のユニフォームを着用して下さい。（ダブルス・学校対抗においては、同種・同色が望ましい。）
- ・ 会場使用について・・・上履・下履の区別をしっかりとつけ、ゴミは各自で持ち帰って下さい。
- ・ 日本卓球協会登録が県高体連登録を兼ねることとなります。登録のない者は試合に出場することができませんので、必ず日本卓球協会への登録をお願いいたします。
- ・ ウォーマー及びジャージについては、できるだけ白色は避ける。